

# 第18回東京フィルメックス 結果報告

2017年11月18日(土)～11月26日(日)開催

\*2017年12月1日現在

<b>総合入場者数</b>	<b>12,113人</b>	前年=13,163人
---------------	----------------	------------

・日劇3でのレイトショーへの平均入場者数は22%増、昨年から導入したU-25割は13.6%増を記録し、観客層の入れ替わりが感じられた。ただし、メイン会場の朝日ホールは平均入場者数が3.3%減となり、総合入場者数は約1,000人減(8%減)となった。

<b>●劇場観客動員数(実数)</b>	<b>10,861人</b>	上映作品本数=25本
	前年=11,977人	(前年上映作品本数=22本)

*会場別	(全9日間、38回)	
有楽町朝日ホール(メイン会場)	7,971人	(8日間、25回)
TOHOシネマズ 日劇1(オープニング会場)	722人	(1日間、1回上映)
TOHOシネマズ 日劇3(レイトショー会場)	1,929人	(8日間、8回上映)
フィルムセンター小ホール(映画の時間プラス会場)	239人	(2日間、4回上映)

<b>●サイド・イベント</b>	<b>1,192人</b>	(タレント・トークショー、スクエア・イベント、フォーラムなど)
	前年=1,186人	

●上映作品本数	●ゲスト数
*上映作品本数=全25作品	*登壇ゲスト数(のべ) 計63名
コンペティション 9作品	コンペティション 10名
特別招待作品 8作品	特別招待作品 12名
特別招待作品 フィルメックス・クラシック 2作品	特集上映 2名
特集上映 ジャック・ターナー 2作品	タレント・トークショー 23名
映画の時間プラス 4作品	審査員 5名
	フォーラム、トークショー 11名

## 最優秀作品賞(2作同時受賞) ※本年度の審査員特別賞は対象なし

『殺人者マルリナ』(2017年/インドネシア、フランス、マレーシア、タイ) 監督: モーリー・スリヤ

『見えるもの、見えざるもの』(2017年/インドネシア、オランダ、オーストラリア、カタール) 監督: カミラ・アンディニ

## 観客賞

『ニッポン国VS泉南石綿村』(2017年/日本) 監督: 原一男

## 学生審査員賞

『泳ぎすぎた夜』(2017年/日本、フランス) 監督: ダミアン・マニヴェル、五十嵐耕平

## Filmarks賞

『泳ぎすぎた夜』(2017年/日本、フランス) 監督: ダミアン・マニヴェル、五十嵐耕平

## タレント・トークショー・アワード2017

「I wish I could HIBERNATE」(モンゴル) ピュレヴダッシュ・ゾルジャーガル

・スペシャル・メンション「Doi Boy」(タイ) スパッチャ・ティプセナ